

## 第2学年2組学級活動（1）学習指導案

指導者 澤村 正太郎

### 1. 議題 「2年2組がもっと元気で楽しくなるクリスマス会をしよう」

#### 2. 議題について

##### （1）学級の実態（男子15名 女子9名 計24名）

本学級の児童は、全体的に仲良く、助け合って学校生活を過ごしている。優しく、穏やかで素直であるが、根気やたくましが乏しい児童が多い。学習に対して意欲的で、知識の定着は比較的よいといえる。年度当初は友達関係のトラブルが多く見られ、教師が間に入るがあったが、次第に自分たちで解決できるようになり、トラブルは減少している。

本学級では、「明るく、楽しく、元気よく」という学級目標を掲げ、その具現化をめざし、毎日の学習や休み時間の遊びに意欲的に取り組んでいる。毎月1回程度のわくわくタイム（ロング昼休み）のクラス遊びの内容は、学級会を開いた上で決定している。7月には女子1名、10月には男子1名が加わり、それぞれ「迎える会」の内容を学級会で話し合い、みんなで歓迎しようと計画を立て、実践し、楽しい時間を共有することができた。これらの集会活動を通して、人のために何かをするという助け合いの精神、自分たちで計画したことを実現させる行動力、学級への所属感も少しずつ、児童の中に育まれてきたように思える。

学級活動での話し合い活動については、司会グループが学級会を進めるという話し合いの形態に次第に慣れてきて、教師の助言を受けながらではあるが、進行表に沿った基本的な進行ができるようになりつつある。学級会を積み重ねることで、学級会ノートに自分の考えを書いたり、発表したりすることに慣れ、学級会の中で全員が1回は発言することが定着している。しかし、同じ内容の発言の繰り返して時間を費やしてしまったり、反対意見ばかり挙がってしまったりして、深まりのない話し合いになることがあった。そこで、時間のめやすを明示したり、賛成・反対意見をマグネットで可視化したりしたところ、時間に気を配るようになり、賛成意見の割合も高くなり、学級会がスムーズに進むようになってきた。

アンケートを実施したところ、自分の考えを書くことが好きと答えた児童は9割以上いて、学級会で発表したり話し合ったりするのが好きな児童の割合は8割程度に留まっている。

##### （2）議題選定の理由

本議題は、学級活動（1）「学級や学校の生活づくり」のA「学級や学校における生活上の諸問題の解決」に関わるものである。

児童は前期に「夏休み前お楽しみ会」、後期に「ハロウィンパーティー」などの集会活動を行っている。集会活動をすることで、自分のよさを発揮したり、友達のよさを認め合ったりすることができた。また、学級集団への所属感や連帯感を高めることができた。今後も定期的に、季節に合った集会活動を行うことで、これらの人間関係を深める機会としたい。

また、集会活動を行うためには、話し合いが不可欠である。学級会の経験を重ねることで、話し合い活動の基本を身に付けさせたい。また、学級会で話し合い、みんなで計画を立て、実践し、楽しい時間を共有することが、学級目標である「明るく、楽しく、元気よく」の具現化につながると考える。これらの理由からこの議題を設定した。

### 3. 研究主題とのかかわり

部会の研究主題・研究仮説は以下のとおりである。

#### 研究主題

「自発的・自主的に行動し、生きる力を身につけた児童生徒の育成」

～望ましい集団活動を通して、児童生徒の自主的・実践的態度を育成する指導のあり方～

#### 研究目標

学級活動等の集団活動における児童生徒の自主的・実践的な態度を育成する指導のあり方を明らかにするとともに、話し合い活動の一層の充実を図る。

#### 研究仮説

- (1) 学級活動等の集団活動において、集団の実態を踏まえ<sup>①</sup>、一人一人の児童生徒の課題意識や役割分担を明確にし<sup>②</sup>、活動の過程を具体的に掴ませ<sup>③</sup>、活動に取り組ませれば、児童生徒の集団への帰属意識や活動での達成感が高められ、自主的・実践的態度が育つであろう。
- (2) 話し合い活動において、話し合いの効率化を図る<sup>④</sup>とともに、活動目標の共有化を踏まえて<sup>⑤</sup>、考えや取り組みの可視化や認め合う活動等<sup>⑥</sup>を行っていけば、取り組みへの意欲や達成感が高まり、自主的・実践的な態度が育つであろう。

#### 常時活動に関わる手立て

##### ○学級の実態把握・・・仮説（１）①

「学級会アンケート」を実施し、学級集団の実態を把握する。（6月26日、11月11日実施）

##### (1)自分の考えを書くのは好きですか。

○好き、どちらかといえば好き：6月＝75%→11月＝96%

○みんなが喜ぶかもしれないから。                      ○自分の意見がいっぱいあるから。

○いろいろなことが書けるから。                      ○いい意見が出るから。

○書くとおもしろくなるから。                      ○勉強になって頭が良くなるから。

○自分の考えを出すと気持ちがいいから。                      ○意見を早く言いたいから。

○いっぱい考えを出して、みんなに決めてほしいから。

●あまり好きではない、好きではない：6月＝15%→11月＝4%

●時間がかかるから。                      ●字を書くのが苦手だから。

##### (2)学級会で話し合うのは好きですか。

○好き、どちらかといえば好き：6月＝90%→11月＝83%

○いろいろな意見が集まるから。                      ○いい考えの人がいるから。

○言いたいことを言えるから。                      ○友達のいいところが見られるから。

○賛成・反対意見を出せるから。                      ○もっともっとすごい意見を見たいから。

○他の人の意見を聞くのが好きだから。                      ○発表するとすっきりしてわくわくするから。

○みんなが賛成・反対してくれるから。                      ○話し合ったらいろんな会ができるから。

●あまり好きではない、好きではない：6月＝10%→11月＝17%

●あまり自分の意見が出せないから。                      ●反対の意見が出ると嫌だから。

●みんなの前で発表するのは苦手だから。                      ●大変だから。

●みんな僕の言ったことに嫌なことばかり言うから。

### ○学級会ノートの活用・・・仮説（１）①②、仮説（２）④

学級会の短い時間の中で、自分の意見を出そうとすると、いいアイディアが出ないことがある。そこで、事前に議題や提案理由、話し合いのめあてを知らせ、学級会ノートに自分の考えとその理由を記入させておくことで、話し合いの効率化を図る。また、課題意識をもって学級会に参加し、学級の一員として、課題を解決するような発表ができるようにしたい。

また、教師が事前に記入された学級会ノートに目を通すことで、児童の考えを把握し、いい意見をもっているのに発表できないでいる児童の発表を促すこともできる。さらに、一言コメントを書いておくことで、自分の意見に自信をもつことができる。

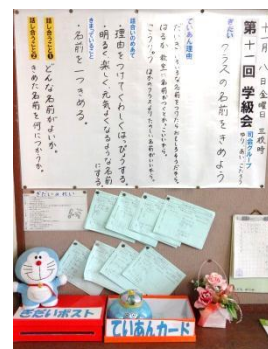
### ○司会グループの輪番制・・・仮説（１）②

司会と黒板係の司会グループは、必ずどの子も経験できるように、輪番制（出席番号で３人ずつ）にしている。それぞれの立場を経験することで、話し合いにおける司会や黒板係のリーダー性や効率性、フォロワーが司会の児童を助けるといった役割分担を身に付けさせたい。

### ○学級会コーナーの活用・・・仮説（１）③、仮説（２）④⑤⑥

児童は集会活動当日のことばかり考えがちになる。「事前の活動→話し合い→準備→集会活動→振り返り」という一連の流れを学級会コーナーに例示とともに掲示し、今自分たちはどの段階にいるのかを意識させ、集会活動までの過程を具体的に掴ませたい。

また、議題・提案理由・話し合いのめあて・決まっていること・話し合うことは、事前に学級会コーナーで知らせておくことで、話し合いの効率化を図るとともに、活動目標を共有化する。



### ○短冊・マグネットの活用・・・仮説（２）④⑥

事前に提出された学級会ノートから、児童の考えを予め短冊にしておき、黒板係の児童の負担を減らすとともに、話し合いの効率化を図る。

また、児童のネームマグネット、賛成意見はピンクのマグネット、反対意見は青のマグネット、決定事項は黄色の星というように、色別で思考をまとめ、児童の考えを可視化することで、話し合いの過程が分かるようにする。



### 今回の議題に関わる手立て

#### ○毎月の小イベントの振り返り・・・仮説（１）①②、仮説（２）⑤⑥

児童は９月「小運動会」、１０月「〇〇さんを迎える会」「ハロウィンパーティー」と毎月小イベントを行ってきた。それぞれのイベントの実施直後に行った振り返りを、学級で共有化する。もっと「明るく、楽しく、元気よく」するために、児童から出された意見を掲示しておく。

#### ○多数決での決定・・・仮説（１）②、仮説（２）⑥

話し合いの過程で、賛成・反対意見を聞き、意見が変容する児童や、発表が苦手な話し合いに参加できない児童もいる。そこで、まとめる（決める）段階で多数決をとることで、最後は全員の意見で決定できるようにする。

#### 4 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級生活に関心をもち、話合いの準備に進んで取り組もうとしている。</li> <li>・決定したことについて、進んで準備や計画に取り組もうとしている。</li> <li>・集会活動を楽しみにし、進んで取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議題について自分の考えをもち、話合いの順序など簡単な計画について考え、準備している。</li> <li>・決定したことや役割を考え、仲よく実践している。</li> <li>・集会の内容や準備などについて考え、仲良く助け合って実践している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話合い活動の準備の仕方や基本的な進め方を理解している。</li> <li>・決定したことについて、みんなで実践することの大切さや方法について理解している。</li> <li>・集会活動の楽しさを知り、自分の役割について理解している。</li> </ul>

#### 5 活動の過程

##### (1) 活動計画

	活動内容	評価の視点
事前	1 議題を選ぶ。 2 話合いの計画を立てる。 3 話合いの準備をする。	○学級のことを考えた議題を選ぶことができる。 <b>★司会グループによる議題の選定</b> ○話合いのめあてや内容や進め方を考えることができる。 <b>★司会グループと担任による打ち合わせ</b> ○学級会ノートに、自分の考えとその理由を書き、黒板に貼る短冊を準備する。 <b>★学級会ノート</b>
本時	1 議題の提案 2 話合い 3 話合いの振り返り	○わかりやすい提案をすることができる。 <b>★提案者の発言</b> ○「2年2組がもっと楽しくなる」に合った内容の発言をすることができる。 <b>★児童の発言</b> ○話し合って決まったことへの実践意欲を高めることができる。 <b>★学級会ノート</b>
事後	1 クリスマス会の準備 2 クリスマス会の実施 3 クリスマス会の振り返り	○意欲的に準備をすることができる。 <b>★準備物の確認</b> ○決まった内容や自分の役割でクリスマス会を進めることができる。 <b>★児童の言動</b> ○クリスマス会のビデオを見て、よかったところや改善点を見つけることができる。 <b>★振り返りカード</b>

## (2) 本時の活動

### ①目標

○2年2組が「明るく、楽しく、元気よく」なるようなクリスマス会を考え、発表できる。

【関心・意欲・態度】

○議題について自分の考えをもち、提案理由に合った内容を決めることができる。

【思考・判断・実践】

○司会や発表の仕方などの基本的な話合いの進め方を理解する。

【知識・理解】

### ②展開

活動内容	指導上の留意点	目指す子どもの姿
1 始めの言葉	○進行表に沿って、司会グループを中心に進められるようにする。	
2 司会グループの役割紹介	○学級会ノートや姿勢など、話合い活動への心構えができているか確認し、必要に応じて個別に声をかける。	
3 議題の確認		
2年2組がもっと元気で楽しくなるクリスマス会をしよう。		
4 提案理由の確認 「12月でお別れをする友達がいますので、最後の日にクリスマス会をして、明るく、楽しく、元気よく過ごしたいから。」	○議題・提案理由・話合いのめあて・決まっていること・話し合うことは、事前に学級会コーナーで知らせておくことで、見通しをもって話合いに臨めるようにする。	◇議題・提案理由・めあて・決まっていること・話し合うことをしっかり聞き、改めて話合いに臨もうとしている。
5 話合いのめあての確認	○司会者に読ませることで、再確認できるようにする。	
6 決まっていることの確認		
7 先生の話	○学級目標「明るく・楽しく・元気よく」を意識できるよう話をする。	
8 話合い 話し合うこと① どんなあそびをするか。	○話合いの時間のめやすを伝えておき、時間を意識して話し合うことができるようにする。	◇めあてを考えて話し合っている。
何でもバスケットがいいと思います。みんなの顔を見て明るくなるからです。	○事前に全員の学級会ノートに目を通し、コメントを書いておくことで、自信をもって話合いに参加できるようにする。	◇友達の意見のよいところを考えながら、聞いている。
	○賛成・反対意見を色別のマグネットで示し、話合いの過程がわかるようにする。	◇自分の意見を進んで発表している。

<p><b>話し合うこと②</b></p> <p>クリスマスらしくなる工夫</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>クリスマスツリーを作りたいです。みんなで協力すると楽しいからです。</p> </div> <p>9 決まったことのたしかめ</p> <p>10 振り返り</p> <p>11 先生の話</p> <p>12 終わりの言葉</p>	<p>○児童の考えを予め短冊にしておき、話合いの効率化を図る。新たな意見が出た場合はその場で短冊に書かせる。</p> <p>○提案理由や話合いのめあてからそれとときは、その場で助言する。</p> <p>○時間内にまとめられるよう助言する。</p> <p>○選ばれなかった意見も掲示しておき、次の集会等で活用できるようにフォローする。</p> <p>○話し合うこと①②で決まったことを再確認させる。発表に不足がある場合は助言する。</p> <p>○学級会ノートの振り返りの欄をもとにして、本時の話合いを振り返り、自己評価をしたり、活躍していた友達の名前や感想を書いたりして、発表できるようにする。</p> <p>○前回の学級会と比べてよかったこと、次の学級会に向けての課題、司会グループへのねぎらいの3点についてコメントをする。</p>	<p>◇決まったことや、自分がこれから何をするのかを理解している。</p>
--	---	---------------------------------------

③板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>話し合うこと②</b></p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">★ [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]</div> <div style="text-align: center;">★ [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]</div> <div style="text-align: center;">★ [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <div style="text-align: center;">○ ○</div> <div style="text-align: center;">○ ○</div> <div style="text-align: center;">○ ○</div> <div style="text-align: center;">○ ○</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>クリスマスツリー</b></p> </div> <p style="font-size: small;">「クリスマスらしくなるくふう」</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>話し合うこと①</b></p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">★ [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]</div> <div style="text-align: center;">★ [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]</div> <div style="text-align: center;">★ [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <div style="text-align: center;">○ ○</div> <div style="text-align: center;">○ ○</div> <div style="text-align: center;">○ ○</div> <div style="text-align: center;">○ ○</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>何でもバスケット</b></p> </div> <p style="font-size: small;">「どんなあそびをするか。」</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>きまぐれいっしょ</b></p> </div> <p style="font-size: small;">十二月十九日(木)三校時校でい 四校時教室</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>話合いのめあて</b></p> </div> <p style="font-size: small;">元氣100倍で楽しめるあそびやくふうを 考えよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>ていあん理由</b></p> </div> <p style="font-size: small;">十二月で〇〇くんとおわかれになるので、 さい、この日にクリスマス会をして、 明るく、楽しく、元氣よくすごしたいから。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>ぎだい</b></p> </div> <p style="font-size: small;">二年二組がもっと元氣で楽しくなる クリスマス会をしよう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>第十三回学級会</b></p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">司会</div> <div style="text-align: center;">〇〇〇〇</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">黒ばん</div> </div>
--	--	--

平成25年度

市教研 特別活動部会 11月例会

# 授 業 研 究 会

<b>部会 研究主題</b>	「自発的・自主的に行動し、生きる力を身につけた児童生徒の育成」 ～望ましい集団活動を通して、児童生徒の自主的・実践的態度を育成する 指導のあり方～
<b>研究仮説</b>	(1) 学級活動等の集団活動において、集団の実態を踏まえ、一人一人の児童生徒の課題意識や役割分担を明確にし、活動の過程を具体的に掴ませ、活動に取り組ませれば、児童生徒の集団への帰属意識や活動での達成感が高められ、自主的・実践的態度が育つであろう。 (2) 話し合い活動において、話し合いの効率化を図るとともに、活動目標の共有化を踏まえて、考えや取り組みの可視化や認め合う活動等を行っていけば、取り組みへの意欲や達成感が高まり、自主的・実践的な態度が育つであろう。



期 日	平成25年11月19日 (火)
場 所	千葉市立都賀の台小学校
授 業	14:00～14:45
学級活動	「2年2組がもっと元気で楽しくなる クリスマス会をしよう」
展開場所	2年2組教室
展開学級	2年2組
指 導 者	澤村 正太郎
研究協議	15:00～15:30
会 場	図書室

